

第 162 回 多文化共創フォーラム 21 のお知らせ 「統計データで読み解く多文化共創社会」

新年おめでとうございます。昨年は、専門分野が異なる参加者が集い、グローバルな視座と経済学的アプローチで統計データを読み解きながら移民政策を考えるフォーラムを展開しました。2020 年初回はアンケート調査の集計や統計データをいかに読み解いていくか、分析結果から問題解決に向けて示唆的な議論を展開したいと思います。論理・数学的なことは苦手と思い込んでいた学生さんにとっても、情報分析が得意となる転機です。万障お繰り合わせの上、御出席ください。

主催：多文化社会研究会 <https://tabunkaken.com/>

日時：2020 年 1 月 25 日 14 時～17 時（13 時 30 分開場）

会場：カイ日本語スクール本校（新大久保駅徒歩 3 分） <http://www.kaij.jp/location/>

会費：当研究会会員・学生は無料、それ以外は 1000 円

* 配布資料 1：川村・万城目「外国人集住都市会議群馬・静岡ブロック調査報告書」

* 配布資料 2：UNHCR, the Peter McMullin Centre on Statelessness and the Social Research Institute of Chulalongkorn University. "Researching and Understanding Statelessness in Southeast Asia: The Role of Academic Research and Education." Bangkok, 25-26 September 2019

* 参考文献：川村・郭・貫・原著『統計データで読み解く 移動する人々と日本社会－ライフサイクルの視点から情報分析を学ぶ』ナカニシヤ出版 2013

* 新刊紹介：芹澤健介『となりの外国人』マイナビ新書 2019 年 12 月

* 総合司会：大野勝也（日本大学大学院文学研究科社会学専攻博士前期課程）

* 開会挨拶：茅野礼子（作家。女性史研究家。多文化研会員）

◆基調講演：外国人住民の高齢化に関する調査結果と分析からの実証的研究



日本における在留外国人数は、273 万 1093 人（2018 年 12 月）、その中で 65 歳以上の外国人の総数は、17 万 5789 人、6.6%となっています。統計データに着目すると外国人集住都市会議会員都市においても高齢化率は増加しています。群馬・静岡ブロックでは外国人住民を対象としたアンケート調査を実施しました。膨大なデータを集計・クロス集計分析し、外国籍住民の高齢化の課題を発見し、解決の道を議論しましょう。非正規雇用で働いている方が 45.8%で、介護保険について 75.6%の人がわからないと答えています。

↑【ブラジルでの会議にて（2018 年）】

講演者：万城目正雄（東海大学教養学部人間環境学科准教授。多文化研理事。専門：国際経済学）

コメンテーター：貫 真英（城西大学経済学部准教授。多文化研理事）

コメンテーター：二文字屋修（予定）（NPO 法人 AHP ネットワークス執行役員）

<休憩 15：15～15：30>

◆講演2：なぜ「やさしい日本語」が必要なのかー自治体職員研修から見えること



「やさしい日本語」が一般に知られるようになり、自治体も外国人住民対応の改善のため地道に努力をしています。

2011年から神奈川県内で自治体職員対象に80回余り実施してきた「やさしい日本語」研修経験をもとに、現場での受容をめぐる課題を共有しましょう。

講演者：坂内泰子（神奈川県立国際言語文化アカデミア教授。多文化研理事）

経歴：カリフォルニア大学客員研究員、国文学研究資料館共同研究員、実践女子大学、成蹊大学、東京大学文学部非常勤講師。2003年神奈川県立外語短期大学に着任。『つながるにほんごーかながわでとにくらす』（共著 2012）、教材『つながるにほんご別冊活動ガイド』（共著 2014）、教材『やさしいにほんごでつながるコミュニケーション・シート』（共著 2018）など多数。

◆講演3：無国籍の研究と教育に関するアジア地域会議の報告ー日本の主要大学シラバスにおける無国籍の可視性の調査結果を中心に

無国籍の研究と教育に関し、アジア地域での協力の促進を目指す会議が、UNHCR、シドニーのピーターマクムリンセンター、バンコクのチュランコン大学の共催で2019年9月にバンコクで開催されました。この会議に参加し、日本の24の大学のシラバスをいくつかのキーワードで比較検索し、多文化社会研究会や無国籍ネットワークの会員から頂いたコメントも加えて発表しました。無国籍は、24大学中16大学のシラバスに登場しません。調査結果と会議での反応、会議の結論の概要を報告します。無国籍への理解を広げるために私たちができることを一緒に考えていきたいです。



【バンコクでの会議にて（2019年）】

講演者：三谷純子（東京医科歯科大学・早稲田大学非常勤講師。東京大学大学院博士課程。無国籍ネットワーク理事。元UNICEF広報官、元UNHCR第3国定住官。多文化研会員）

*閉会の辞（17:00） 阿部治子

*フォーラム終了後、懇親会を予定

「フォーラム」および「懇親会」に参加をご希望される方は、**【1月17日（金）】**までにお申し込みください。

○参加申し込み先：阿部治子（多文化研事務局）

ab.haruko[]gmail.com ※[]を@に変えて送信してください。

【お問い合わせ】多文化社会研究会 <https://tabunkaken.com/>